

MX183000A

ハイスピード シリアルデータ テストソフトウェア

## Release Note

第 30 版

拝啓、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
本リリースノートには、弊社製 MX183000A バージョン 6.00.05 におけるリリース情報および変更  
内容が記載されています。  
今後ともご愛顧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

## 目次

項目	内容
1. リリースバージョン ・・・P3	今回リリースしたバージョンを示します。
2. 対象機器 ・・・P3	本ソフトウェアの制御対象機器を示します。
3. 追加機能 ・・・P4	今回リリースしたバージョンで追加した機能を示します。
4. 不具合修正 ・・・P10	今回リリースしたバージョンで修正した不具合を示します。
5. 既知の不具合 ・・・P15	現在判明している不具合内容を示します。これらの不具合は次回以降のリリースで対応する予定です。
6. 仕様変更 ・・・P16	今回リリースしたバージョンでの仕様変更を示します。
7. 使用上の注意 ・・・P17	本ソフトウェアを使用する場合の注意事項を表記します。

## 1. リリースバージョン

Ver. 6.00.05

## 2. 対象機器

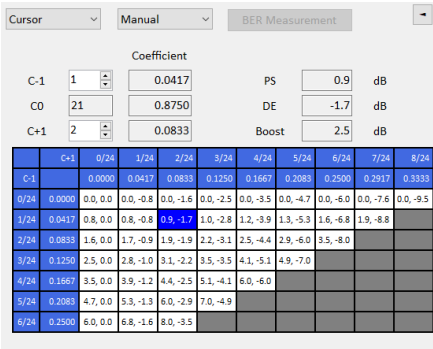
本ソフトウェアの制御対象機器を示します。

形名	品名
MP1900A	シグナルクオリティアナライザ-R
MP1800A	シグナルクオリティアナライザ
MT1810A	4 スロット シャーシ
MU181000A	12.5GHz シンセサイザ
MU181000B	12.5GHz 4 ポートシンセサイザ
MU181500B	ジッタ変調源
MU195020A	21G/32G bit/s SI PPG
MU183020A	28G/32G bit/s PPG
MU183021A	28G/32G bit/s 4ch PPG
MU195040A	21G/32G bit/s SI ED
MU183040A	28G/32G bit/s ED
MU183041A	28G/32G bit/s 4ch ED
MU183040B	28G/32G bit/s High Sensitivity ED
MU183041B	28G/32G bit/s 4ch High Sensitivity ED
MU195050A	Noise Generator
MP1825B	4 タップエンファシス
MU196020A	PAM4 PPG
MU196040A	PAM4 ED
MU196040B	PAM4 ED

MP1800A / MP1900A に関する最新情報は、アンリツホームページ(<http://www.anritsu.com>)の MP1800 Series Signal Quality Analyzers から該当地域にアクセスしてください。

### 3. 追加機能

Version	項目	機能
Ver. 5.00.30	FEC Analysis を利用した JTOL の機能追加	制御対象の MP1900A に MU196040B-42 が実装されているとき、MX183000A-PL001 Jitter Tolerance Test アプリケーションで FEC Analysis を利用した JTOL 測定ができます。
	PCIe Link Training の機能追加	MX183000A-PL021/025 PCIe Link Training アプリケーションで、Unlink をクリックしたとき、EIOS を DUT に送信する機能を追加しました。この機能により、Unlink をするだけで DUT を Detect State (初期ステート) に戻すことができるため、DUT を Reset しなくても Link Training ができます。
Ver. 4.09.15	MX183000A の制御対象モジュールを追加	MX183000A-PL021 PCIe Link Training アプリケーション及び MX183000A-PL025 PCIe5 Link Training アプリケーションで以下の機器が制御可能となります。 MU196020A
Ver. 4.06.03	Windows 10 対応	MP1900A Windows 10 IoT OS をサポートします。 Windows 10 IoT OS の MP1900A を使用する場合は、必ず本バージョン以降をインストールしてください。
Ver. 4.03.15	MX183000A-PL025 PCIe 5 Link Training 機能を追加	PCIe 5 Link Training 機能により、PCI Express 5.0 の規格に準拠したデバイスとの Link Training の実施や LTSSM の遷移ログを解析することが可能となります。 本機能を使用するためには MX183000A-PL021 が必須です。
Ver. 4.00.08	PCIe Link Training に Matrix Scan 機能を追加。	PCIe Link Training に Matrix Scan 機能を追加しました。 DUT との Link Training が完了し、Loopback Active 状態で SI PPG の Cursor 値に対する DUT の BER 値を自動で測定できます。
	MX183000A の制御対象モジュールを追加	Jitter Tolerance Test アプリケーションで以下の機器が制御可能となります。 MU196040B

Version	項目	機能																																																																																																			
Ver. 3.08.05	MX183000A-PL021 PCIe Link Training SI PPGの出力方式に Cursorを追加。	<p>SI PPG から出力できる Equalization 方式に Cursor を追加しました。Link Training 中に DUT から Cursor で Equalization の設定を要求された場合、SI PPG から出力される信号はカーソルで指定された係数で Equalization 処理されます。</p>  <p>The screenshot shows a 'Cursor' configuration window with a 'Manual' dropdown and a 'BER Measurement' button. It displays coefficient settings for C-1, C0, and C+1, along with PS, DE, and Boost values in dB. Below this is a table with columns for C-1, C0, C+1, and various frequency/offset values (0/24 to 8/24).</p> <table border="1" data-bbox="758 705 1193 896"> <thead> <tr> <th></th> <th>C-1</th> <th>0/24</th> <th>1/24</th> <th>2/24</th> <th>3/24</th> <th>4/24</th> <th>5/24</th> <th>6/24</th> <th>7/24</th> <th>8/24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>C-1</th> <td>1</td> <td>0.0000</td> <td>0.0417</td> <td>0.0833</td> <td>0.1250</td> <td>0.1667</td> <td>0.2083</td> <td>0.2500</td> <td>0.2917</td> <td>0.3333</td> </tr> <tr> <th>0/24</th> <td>0.0000</td> <td>0.0, 0.0</td> <td>0.0, -0.8</td> <td>0.0, -1.6</td> <td>0.0, -2.5</td> <td>0.0, -3.5</td> <td>0.0, -4.7</td> <td>0.0, -6.0</td> <td>0.0, -7.6</td> <td>0.0, -9.5</td> </tr> <tr> <th>1/24</th> <td>0.0417</td> <td>0.8, 0.0</td> <td>0.8, -0.8</td> <td>0.9, -1.7</td> <td>1.0, -2.8</td> <td>1.2, -3.9</td> <td>1.3, -5.3</td> <td>1.6, -6.8</td> <td>1.9, -8.8</td> <td></td> </tr> <tr> <th>2/24</th> <td>0.0833</td> <td>1.6, 0.0</td> <td>1.7, -0.9</td> <td>1.9, -1.9</td> <td>2.2, -3.1</td> <td>2.5, -4.4</td> <td>2.9, -6.0</td> <td>3.5, -8.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>3/24</th> <td>0.1250</td> <td>2.5, 0.0</td> <td>2.8, -1.0</td> <td>3.1, -2.2</td> <td>3.5, -3.5</td> <td>4.1, -5.1</td> <td>4.9, -7.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>4/24</th> <td>0.1667</td> <td>3.5, 0.0</td> <td>3.9, -1.2</td> <td>4.4, -2.5</td> <td>5.1, -4.1</td> <td>6.0, -6.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>5/24</th> <td>0.2083</td> <td>4.7, 0.0</td> <td>5.3, -1.3</td> <td>6.0, -2.9</td> <td>7.0, -4.9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>6/24</th> <td>0.2500</td> <td>6.0, 0.0</td> <td>6.8, -1.6</td> <td>8.0, -3.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>本修正に伴い、SI PPG に設定できる FS (Full Swing), LF (Low Frequency) 値は 24, 8 固定となり、次のリモートコマンドによる設定が無効となります。</p> <p>:LTRaining:SEquence:FSWing :LTRaining:SEquence:LFRequency</p>		C-1	0/24	1/24	2/24	3/24	4/24	5/24	6/24	7/24	8/24	C-1	1	0.0000	0.0417	0.0833	0.1250	0.1667	0.2083	0.2500	0.2917	0.3333	0/24	0.0000	0.0, 0.0	0.0, -0.8	0.0, -1.6	0.0, -2.5	0.0, -3.5	0.0, -4.7	0.0, -6.0	0.0, -7.6	0.0, -9.5	1/24	0.0417	0.8, 0.0	0.8, -0.8	0.9, -1.7	1.0, -2.8	1.2, -3.9	1.3, -5.3	1.6, -6.8	1.9, -8.8		2/24	0.0833	1.6, 0.0	1.7, -0.9	1.9, -1.9	2.2, -3.1	2.5, -4.4	2.9, -6.0	3.5, -8.0			3/24	0.1250	2.5, 0.0	2.8, -1.0	3.1, -2.2	3.5, -3.5	4.1, -5.1	4.9, -7.0				4/24	0.1667	3.5, 0.0	3.9, -1.2	4.4, -2.5	5.1, -4.1	6.0, -6.0					5/24	0.2083	4.7, 0.0	5.3, -1.3	6.0, -2.9	7.0, -4.9						6/24	0.2500	6.0, 0.0	6.8, -1.6	8.0, -3.5						
	C-1	0/24	1/24	2/24	3/24	4/24	5/24	6/24	7/24	8/24																																																																																											
C-1	1	0.0000	0.0417	0.0833	0.1250	0.1667	0.2083	0.2500	0.2917	0.3333																																																																																											
0/24	0.0000	0.0, 0.0	0.0, -0.8	0.0, -1.6	0.0, -2.5	0.0, -3.5	0.0, -4.7	0.0, -6.0	0.0, -7.6	0.0, -9.5																																																																																											
1/24	0.0417	0.8, 0.0	0.8, -0.8	0.9, -1.7	1.0, -2.8	1.2, -3.9	1.3, -5.3	1.6, -6.8	1.9, -8.8																																																																																												
2/24	0.0833	1.6, 0.0	1.7, -0.9	1.9, -1.9	2.2, -3.1	2.5, -4.4	2.9, -6.0	3.5, -8.0																																																																																													
3/24	0.1250	2.5, 0.0	2.8, -1.0	3.1, -2.2	3.5, -3.5	4.1, -5.1	4.9, -7.0																																																																																														
4/24	0.1667	3.5, 0.0	3.9, -1.2	4.4, -2.5	5.1, -4.1	6.0, -6.0																																																																																															
5/24	0.2083	4.7, 0.0	5.3, -1.3	6.0, -2.9	7.0, -4.9																																																																																																
6/24	0.2500	6.0, 0.0	6.8, -1.6	8.0, -3.5																																																																																																	

Version	項目	機能
Ver. 3.08.05	MX183000A-PL021 PCIe Link Training SI PPG Electrical Idle Time の設定を追加。	SI PPG がビットレートを変更するときの、Electrical Idle の時間を 1ms 未満または 1ms 以上に設定できます。通常時は規格で定義されている 1ms 未満の使用を推奨します。1ms 以上は DUT のレシーバの耐力を確認するために使用できません。
	MX183000A-PL021 PCIe Link Training CBB Controller の DUT Reset 後の安定 時間の設定上限を拡張	CBB Controller で DUT を Reset した後の安定時間の上限値 (Option 画面-State Machine タブの Waiting time) を 300 秒に拡張しました。
Ver. 3.07.12	MX183000A-PL031 DUT Error Counts Import 機能を追加	DUT Error Counts Import 機能により、DUT の内部カウンタの測定結果を取得できます。また、MX183000A-PL001 Jitter Tolerance Test と組み合わせることで DUT カウンタ結果を使ったジッタ耐力測定ができます。
	JTOL 測定時の SJ 設定シーケンスの最適化。	JTOL (Jitter Tolerance Test) 中に、DUT の CDR が Unlock していくるように設定シーケンスを最適化しました。また、SJ 値をゼロに戻すときのステップを設定する機能を追加しました。
	JTOL に関するリモートコマンドを追加。	JTOL 測定結果を問い合わせるためのコマンドを追加しました。
	USB Link Training で特定のステート遷移時に Wait を入れる機能を追加。	USB Link Training で Rx Detect と Polling State の間に、Wait を設定できる機能を追加しました。
	PCIe Link Training で CBB 4.0 の電源を自動でリセットするための機能を追加	PCIe Link Training で CBB 4.0 の電源を自動でリセットするための機能および治具(オーダリング番号: Z2025A)を追加しました。本機能を使用するためには、Z2025A に添付されている NI DAQmx ソフトウェアのインストールが必要になります。
Ver. 3.06.16	MX183000A の制御対象モジュールを追加	Jitter Tolerance Test アプリケーションで以下の機器が制御可能となります。 MU196020A, MU196040A

Version	項目	機能
Ver. 3.04.09	PAM4 Control G0375A の 4 台制御 に対応	PAM4 Control にて、G0375A 32Gbaud Power PAM4 Converter の制御台数を最大 4 台に拡張しました。 これにより 1~4ch の PAM4 信号を GUI から制御できます。
Ver. 3.02.04	マウス操作による数 値入力に対応	変更したいパラメータ上で右クリックまたはホイールクリック すると、数値入力モードに切り替わります。このモードではマ ウスのみで任意の数値を設定することができます。
	PAM4 Control PAM4 Auto Search の高速化	PAM4 Auto Search にかかる時間を短縮しました。 従来より最大で 140 秒程度測定時間が短縮されました。
Ver. 3.01.01	MX183000A-PL021 PCIe Link Training へ の機能追加	PCIe LEQ Response 試験で、DUT の Tx EQ を変更させる方 法として、Cursor を指定できます。
		PCIe Link Training 中に MP1900A がビットレート変更にかか る時間を変更することで、DUT のタイムアウトに対する耐力 を測定できます。Fast はビットレートを変更する状態で、 タイムアウト時間が規格を満たさない特殊な DUT を測定す ることにも使用できますが、機能上の制約があります。通常 は Middle を選択してください。
		PCIe Link Training 中に MP1900A が DUT から受信した Full Swing, Low Frequency, Lane Number, Link Number の値 を Result エリアに表示できます。また、Full Swing と Low Frequency の値を LTSSM 遷移 Log に表示できます。Link Training の結果の確認に有用です。
Ver. 3.00.00	MX183000A-PL022 USB Link Training 機 能を追加	USB Link Training 機能により、USB3.1 の規格に準拠したデ バイスとの Link Training の実施や LTSSM の遷移ログを解 析することが可能となります。 本機能を使用するためには以下の機器が必須です。 MP1900A, MU195020A, MU195040A

Version	項目	機能
Ver. 3.00.00	PCIe Link Training LEQ 測定機能の追加	PCI Express® Architecture PHY Test Specificationで規定されているLink Equalization Test (Preset only) が可能となります。これらのテストは、項目によってReal Time Oscilloscopeが必要となります。
	PCIe Link Training Common Ref Clock Architecture (System Board)への 対応。	DUT から出力される 100 MHz Ref. Clock に同期する機能が追加されたことにより、Common Refclk architecture (System Board) のテストが可能になります。 本機能を使用するためには MU181000B Opt02 が必須です。
	PCIe Link Training LTSSM トリガ機能の 追加	計測器が指定された LTSSM State に遷移した時、MU195020A からトリガ信号を出力できます。この機能により、オシロスコープを使用して、任意の LTSSM State でのデータ波形を確認できます。
	PAM4 Control アプリ のリモートコマンドに よる制御に対応	PAM4 Control をリモートコマンドで制御することができます。コマンドの詳細な仕様は MX183000A ハイスピード シリアルデータ テストソフトウェア取扱説明書の第 5 章を参照してください。
Ver. 2.01.00	PAM4 Control 機能を 追加	PPGとG0375Aを組み合わせた出力系を制御し、PAM4 出力のレベルを制御することが可能となります。また、G0376A の CTLE Gain 及び入力閾値電圧を制御することが可能となります。 また、CTLE Gain、入力閾値電圧、PPG の Delay、ED の Delay の最適値を自動でサーチする機能を持ちます。 PAM4 Control は無償アプリケーションです。
	最前面表示機能の追加	MX183000A を最前面で表示する機能を追加しました。これにより、MX180000A, MX190000A の画面を確認しながら MX183000A の操作を行うことができます。 メニューバーから最前面表示機能の ON/OFF を切り替えることができます。
Ver. 2.00.00	MX183000A-PL021 PCIe Link Training 機能 を追加	PCIe Link Training 機能により、PCI Express の規格に準拠したデバイスとの Link Training の実施や LTSSM の遷移ログを解析することが可能となります。 本機能を使用するためには以下の機器が必須です。 MP1900A, MU195020A, MU195040A



Version	項目	機能
Ver. 2.00.00	MX183000A の制御対象モジュールを追加	PCIe Link Sequence, Jitter Tolerance Test アプリケーションで以下の機器が制御可能となります。 MP1900A, MU195020A, MU195040A
	MX183000A-PL001 Jitter Tolerance Test に 2ch Combination テストモードを追加	MX183000A-PL001 Jitter Tolerance Test で ED 2ch Combination での テストが可能となります。
Ver. 1.02.00	USB3.1 Receiver Test Adapter を使用した USB BER 測定に対応。	USB Link Sequence の制御機器に USB3.1 Receiver Test Adapter を追加しました。USB Link Sequence は本バージョン以降、USB3.1 Receiver Test Adapter を使用した接続を基本構成として動作します。 G0373A USB3.1 Receiver Test Adapter の詳細は弊社営業までお問い合わせください。
	USB コンプライアンスパターンにエラー挿入する機能を追加。	USB Link Sequence で BER 測定用のコンプライアンスパターンに 1bit のエラーを挿入する機能を追加しました。 対象のコンプライアンスパターンは以下です。 Gen1(5.0 GT/s), CP0 Gen2(10.0 GT/s). CP9
	DUT の接続を検出せずにコンプライアンスパターンを送信する機能を追加。	USB Link Sequence にコンプライアンスパターン送信機能を追加しました。これにより DUT の接続を検出せずに任意にコンプライアンスパターンを送信できます。
	PAM4 信号の Jitter Tolerance 測定に対応しました。	Jitter Tolerance Test で PAM4 信号の測定に対応しました。 これにより PAM4 信号の 3Eye (Upper/Middle/Lower) トータルのジッタトレランステストができます。
Ver. 1.01.00	USB Test Adapter に対応。	USB Link Sequence の制御機器に USB Test Adapter を追加しました。接続系として、USB Test Adapter または USB 測定キットのどちらかを選択できます。 USB Test Adapter はアルテック株式会社の製品です。 型名は BSG4G です。
	リンク状態問い合わせコマンドを追加。	リンク状態を問い合わせるコマンドを追加しました。 :CALCulate:RESult:EMONitor?

#### 4. 不具合修正

Version	項目(管理番号)	現象
Ver.6.00.05	SSC 設定コマンドが使用できない (CM4929:0104)	下記の SSC を設定するリモートコマンドを使用できない現象を修正しました。 :LTRaining:SEquence:SSC
	Sequence Editor 使用中に MX183000A で Jitter Tolerance Test から Connect すると、DUT の State が Loopback Active から Exit することがある (CM4929:0166)	Sequence Editor Function(MU195020A-50) で DUT を Loopback Active にした後、Jitter Tolerance Test(MX183000A-PL001)を起動して Connect すると、DUT の State が Loopback Active から Exit することがある現象を修正しました。
	PAM4 PPG を使用すると、SI ED の Calibration に失敗することがある。 (CM4929:0017)	PAM4 PPG を使用して、SI ED の Calibration を MX183000A で実施したとき失敗することがある現象を修正しました。
Ver.5.00.30	PCIe Link Training を Compliance Test アプリケーションから制御すると、アプリケーションエラーが発生することがある。 (CM4786:0617)	PCIe Link Training を Compliance Test 用のアプリケーションから制御すると、アプリケーションエラーが発生することがある現象を修正しました。
Ver.4.02.10	MX183000A-PL021 PCIe Link Training 後に MP1900A が Preset に相当する適切な Cursor 値を応答しないことがある。 (CM4634:0174)	PCIe Link Training 中の、Recovery.Equalization.Phase 2 または Phase 3 state で、MP1900A が DUT から通知される Preset に相当する適切な Cursor 値を応答しないことがある現象を修正しました。 本修正は MX190000A V4.02.10 以降を使用した場合のみ有効です。

Version	項目(管理番号)	現象
Ver.3.08.05	PAM4 Control の Equipment Setup で G0375A を 2 台にして Connect をクリックするとエラーメッセージが表示される。 (CM4547: 0790)	PAM4 Control アプリケーションで、制御する G0375A を 2 台にすると Connect に失敗します。 本修正は MX190000A V3.08.16 以降を使用した場合のみ有効です。
	MX183000A-PL021 PCIe Link Training で Link Start を実行したとき、DUT を Loopback Active にできないことがある。(CM4634:0052)	特定の DUT で PCIe Link Training を実行したときに Loopback Active にできないことがある現象を修正しました。
	MX183000A-PL021 GRL または LeCroy のアプリケーションで DUT を PCIe Tx LEQ Response Time Test した結果が Fail になることがある。 (CM4634:0031, 0050)	GRL または LeCroy のアプリケーションで DUT を PCIe Tx LEQ Response Time Test した結果が Fail になることがある現象を修正しました。
	MX183000A-PL021 リモートコマンドのバグ修正(CM4634:0009, 0012)	次のコマンドを送ったときに、誤った結果を返すことがある現象を修正しました。 :LTRaining:SEQuence:RESult? :LTRaining:SEQuence:RESult:CSKP?

Version	項目(管理番号)	現象
Ver.3.07.12	JTOL 測定結果が Sync Loss にならない。 (CM4547:0134)	JTOL 測定結果が Sync Loss のときに、Error Count が 1000000 と表示されることがあります。本バージョン以降 [Sync Loss]と表示されます。
	PCIe Link Training 時、Electrical Idle の時間が 1 ms を超えることがある。(CM4547:0395)	PCIe Link Training 時、Electrical Idle 時間が 1 ms を超えることがあります。
	Jitter Tolerance Test, PAM4 Control アプリ接続時に Output Clock の設定が意図せずに変更される。 (CM4547:0142)	Jitter Tolerance Test, PAM4 Control アプリから Connect を行った際に、PPG の Output Clock Rate の設定がユーザーの意図しない設定に変更されることがあります。 本バージョン以降、Jitter Tolerance Test, PAM4 Control アプリでは PPG の Output Clock Rate 設定を MX183000A 側から制御しません。
Ver.3.05.00	画面が正常に表示されない	MX183000A を MP1800A ヘインストールすると、画面の一部が途切れてしまい、正常に表示されません。 この現象は MX183000A V3.04.09 で発生します。
Ver.3.04.09	USB Link Training PAM4 Control リモートコマンドのバグ修正 (CM2424:20)	下記リモートコマンドのバグ修正を行いました。 USB Link Training コマンド :CALCulate:DATA:EALarm? 次の引数を追加しました。"CLOS"/"PSL" PAM4 Control コマンド OUTPut:DATA:EAMplitude? 第 2 引数に PERCent を指定したとき、誤ったクエリを返すバグを修正しました。
	リモート操作時のレスポンスが遅くなる (CM2424:07)	Selector から各 Application の起動と終了を繰り返すと、リモート操作のレスポンスが遅くなります。現象が発生するとクエリの応答が正常な Timeout 時間内に返りません。
	PAM4 Control 非線形モード時に対応しないパターンを表示してしまう。 (CM2423:65)	MX183000A PAM4 Control において、非線形 PAM4 モード時に対応していないパターンを表示してしまいます。下記のサポート外のパターンを選択すると非線形 PAM4 信号は出力されません。 JP03A,JP03B,SSPRQ, SSPRQ[D3_4], Transmitter_Linearity, PRBS13Q,PRBS31Q

Version	項目(管理番号)	現象
Ver.3.03.01	リモート時に、アプリが落ちる場合がある。 (CM4024:2351)	リモート時、Connect と Disconnect を交互に繰り返して実施するとアプリが落ちる場合があります。
Ver.3.01.01	PCIe Link Training でエラーフリーにならないことがある。 (CM4024:2080)	MX183000A PL-021 PCIe Link Training において、Link Training を開始したとき、Link Training が成功し Loop.back Active ステートになるが、エラーフリーにならないことがあります。 この現象は V3.01.00 以降で修正されています。
Ver.3.00.00	PCIe / USB Link Training でエラーフリーにならないことがある。 (CM4024:1637)	PCIe Link Training および USB Link Training で Link Training に失敗することや Link Training 後に Error Free にならないことがあります。 この現象は V3.00.00 以降で追加された Calibration 機能で修正されます。詳細は[6. 使用上の注意]を参照してください。
	PAM4 Control アプリオートサーチ機能の精度を改良 (CM4177:0221)	CTLE Gain、入力閾値電圧、PPG の Delay、ED の Delay の最適値のサーチ機能が失敗することがあります。 この現象は V3.00.00 以降修正されています。
	USB Link Sequence でリンクに失敗する (CM3794:0529)	MX183000A V2.01.04 と MX180000A V8.05.00 の組み合わせで USB Link Sequence アプリを起動し、Link Sequence を開始すると失敗します。 この現象は MX183000A V3.00.00 と MX180000A V8.06.00 をインストールすることで回避できます。
Ver.2.01.04	MX183000A アプリケーションが起動しない (CM4177: 0202)	MX183000A V2.01.02 をインストールすると、エラーメッセージが表示されアプリケーションが起動しません。 この現象は V2.01.04 をインストールすることで回避できます。
Ver.2.01.02	PCIe Link Training を終了すると MX190000A がエラーフリーにならないことがある。(CM4024:1409)	MX183000A の PCIe Link Training を使用後、MX183000A を終了すると、MX190000A で BER 測定をおこなったときにエラーフリーにならないことがあります。 この現象は MX183000A V2.01.00 で発生します。

Version	項目(管理番号)	現象
Ver.1.01.00	測定中に[閉じる(×)] ボタンをクリックするとアプリケーションが異常終了することがある。(CM383604:17)	PCIe アプリの Link Sequence 送信時、または JTOL 測定時に [閉じる(×)] ボタンをクリックすると、アプリケーションが異常終了することがあります。

## 5. 既知の不具合

なし

## 6. 仕様変更

項目(管理番号)	Version	現象
LTSSM の名称変更 (CM4929:0104)	新仕様 (V6.00.05~)	PCIe Gen6 規格 rev0.7 に従い、LTSSM の名称に含まれる Master/Slave を Lead/Follower に変更しました。
	旧仕様 (~V5.00.30)	LTSSM の名称に Master/Slave が含まれていました。



## 7. 使用上の注意

### 7.1 PCIe/USB Link Training 使用時の SI ED キャリブレーションについて

MX183000A PCIe Link Training または USB Link Training アプリケーションを使用する場合、MU195040A SI ED をキャリブレーションする必要があります。機器構成の変更やソフトウェアバージョンアップをした場合は、必ずキャリブレーションを行ってください。キャリブレーションは上記のアプリケーション(MX183000A V 3.00.00 以降)を起動した後に、Equipment setup tab に表示される [Calibration] ボタンをクリックすることで実施できます。手順の詳細に関しては、「MX183000A ハイスピード シリアルデータ テスト ソフトウェア 取扱説明書」の「4.3.2 項 機器の接続」を参照してください。キャリブレーションが適切に行われない場合、DUT と正常にリンクできない、またはエラーフリーにならないことがあります。

### 7.2 Ver. 1.00.01 以降

#### 7.2.1 動作環境についての注意事項

MX183000A を動作させるためには、NI-VISA をインストールする必要があります。本ソフトウェアの動作環境に関する詳細は「MX183000A 取扱説明書」の「2.2 動作環境」 および 「2.3 インストール/アンインストール」を参照してください。

#### 7.2.2 ライセンスについての注意事項

MX183000A の有償オプションはライセンス形式となっており、ライセンスキーにより機能が有効になります。ライセンスの取り扱い方法に関しては、本ソフトウェアの標準付属品である USB メモリに格納されている「License\_Install\_J.pdf」ファイルを参照してください。

## 7.3 Ver. 1.01.00 以降

### 7.3.1 インストーラバージョンダウンについての注意事項

MX183000A Ver.1.01.00 以降をインストールした場合、Ver.1.00.01 の上書きインストールはできません。Ver.1.00.01 をインストールしたい場合は、MX183000A をアンインストールしてください。

## 7.4 MP1900A リカバリ時の注意

本ソフトウェアのライセンスキーは、インストール先の MP1900A のシステムリカバリを実行することで使用できなくなります。システムリカバリの詳細は、『MP1900A シグナルクオリティアナライザ-R 取扱説明書』の「8.2 システムリカバリ機能」を参照してください。

システムリカバリを実行する前に『MX183000A ハイスピード シリアルデータ テストソフトウェア 取扱説明書』の「2.4 ライセンスアクティベーション」の記載に従ってライセンスの退避を行ってください。ライセンスの退避をしないで誤ってシステムリカバリを実行したときは、「本製品についてのお問い合わせ窓口」へすみやかにご連絡ください。

## 7.5 Ver.3.08.05 以降

Cursor output 機能の追加に伴い、SI PPG に設定できる FS (Full Swing) , LF(Low Frequency)値は 24, 8 固定となり、次のリモートコマンドによる設定が無効となります。

:LTRaining:SEquence:FSWing

:LTRaining:SEquence:LFRequency

## 7.6 インストーラバージョンダウンの方法

MX183000A のインストーラバージョンをダウンしたい場合、以下の手順で行ってください。

Ver.4.03.00 以降のバージョンをインストールしている場合

1. Windows のプログラムの追加と削除から MX183000A.exe をアンインストールします。
2. 所望のバージョンである MX183000A をインストールします。

Ver.4.03.00 以降のバージョンに V4.03.00 より前のバージョンを上書きインストールした場合

1. Windows のプログラムの追加と削除から MX183000A.exe をアンインストールします。
2. C ドライブ - Anritsu フォルダの下にある、MX183000A フォルダを削除します。
3. 所望のバージョンである MX183000A をインストールします。

## 7.7 外部 PC に MX183000A をインストールする場合

外部 PC に MX183000A をインストールし、MP1900A にインストールされている MX190000A を制御する場合、ファイアウォールやウイルスセキュリティソフトによって通信がブロックされ、MX183000A を正常に使用できない場合があります。その場合、ファイアウォールなどの設定画面で MX1830000A.exe の通信を許可してください。

## 7.8 MU195020A-50 使用時の注意

MU195020A-50 Sequence Editor Function オプションの動作可能なソフトウェアバージョンは以下の通りです。これより古いバージョンのインストーラでは機能、性能を満足できないので注意してください。

MX190000A : Ver. 4.10.20 以降

MX183000A : Ver. 4.10.05 以降

## 7.9 MU196040B-42 使用時の注意

MU196040B-42 FEC Analysis Function オプションの動作可能なソフトウェアバージョンは以下の通りです。これより古いバージョンのインストーラでは機能、性能を満足できないので注意してください。

MX190000A : Ver. 5.00.90 以降

MX183000A : Ver. 5.00.30 以降

## 7.10 ソフトウェア対応バージョン一覧

本ソフトウェアを使用する際は、組み合わせて使用される MX180000A/MX190000A のバージョンに制約があります。以下の表を参照し、使用可能なバージョンを確認してください。

MX180000A	MX190000A	MX183000A	Windows Update サポート番号	
			WES7	Windows10 IoT
V8.02.01	-	V1.00.00	-	-
V8.02.03		V1.01.00	-	-
V8.04.00	-	V1.02.00	-	-
V8.05.00	V1.00.02	V2.00.00	-	-
	V1.01.03	V2.01.00	-	-
V8.06.00 以降	V2.00.00	V3.00.00	-	-
	V2.02.00	V3.01.00	-	-
	V2.03.00	V3.02.00	KB4093118	-
	V2.05.00	V3.04.00	KB4093118	-
	-	V3.05.00	KB4093118	-
-	V3.00.05	V3.06.16	KB4467107	-
	V3.01.07	V3.07.12	KB4467107	-
	V3.08.16	V3.08.05	KB4499178	-
	V4.01.32	V4.00.08	KB4499178	-
	V4.02.10	V4.02.10	KB4499178	-
	V4.03.12	V4.03.15	KB4536952	-
	V4.06.02	V4.06.03	KB4541731	-
	V4.09.41	V4.09.15	KB4541731	-
	V4.09.50	V4.09.15	KB4541731	-
	V4.10.20	V4.10.05	KB4541731	KB4580390
	V4.10.23	V4.10.05	KB4541731	KB4580390
	V5.00.90	V5.00.30	KB4541731	KB4598230
V6.01.05	V6.00.05	KB4541731	KB5003703	

以上